



六甲カトリック教会 教会報

2024

8

No. 632



若い人々と共に歩む

助任司祭 渡辺 徹郎 s. j.



六甲教会に赴任してきて5か月が経とうとしていますが、現在私は青年司牧に携わる機会を頂いています。私が青年司牧と関わり始めたのは、今から7年前のことです。養成の一環として台湾（イエズス会中華管区）に派遣されたことがきっかけです。イエズス会の中でも中華管区は青年司牧にとっても力を入れている管区のひとつです。中華管区は台北に「Magis 青年センター」という施設をもっており、常勤職員を5人も雇っています。平日も様々な活動が企画され、多くの青年が出入りしています。私はそこでスタッフとして研修し、いろいろなことを学ぶ機会を頂きました。日本に戻ってから東京でイエズス会の青年司牧に関わることになり、六甲教会においても青年司牧に携わることになりました。

私が青年司牧にあたり大事にしているのは青年の居場所づくりです。おそらく例外なく、どこの教会の日本語共同体においても青年は圧倒的な少数派です。教会活動に参加しても、青年はあまりにマイノリティすぎて、教会の中に自分の居場所を見出すのが困難な場合が多いように思います。そういった現状の中で、青年が寄り付くことのできる居場所を積極的に作っていくことは教会の喫緊の課題の一つではないかと思っています。

これは私自身の体験から生じている考えでもあります。大学を卒業してサラリーマンをしているときに、とてもパーソナルな神との出会いの体験がありました。私のなかで回心ともいえる人生を変える出来事です。そのとき、信仰を分かち合うために教会の中で自分と同世代のグループを探したのですが、結局見つからず悩んでいる時期がありました。

その後、修道会という燃える信仰の受け皿が見つかり今に至るわけですが、もしそのとき修道者にならなかったならば、今も自分の信仰が燃え続けていたかは分かりません。

さて、このようなことを書いたり発言したりすると、教会のマジョリティの年齢層の方々から「疎外感を感じる」といったご意見を頂くことがあります。しかし、決してそのような意図がないことをご理解いただけたら幸いです。マジョリティの年齢層の方々も変わらずに大歓迎です！むしろ、様々な世代が交じり合う活発な教会共同体をつくるためにも、その前段階として青年たち、ひいてはミドル世代の人々の居場所をみなさまと一緒につくっていくことができれば大きな喜びです。



写真は2023年のワールドユースデー
リスボン(ポルトガル)にて

2024 年度 第2回小教区評議会 議事録（要約）

日 時：2024 年 7 月 14 日（日）11:30～13:00

場 所：信徒会館第1・2会議室

出席者：英隆一朗主任司祭 渡辺徹郎助任司祭 堤福生（議長） 松井理直・荏原いずみ（副議長）
岩谷美禰子・中村節子（書記） 松平麻也（宣教・養成部） 中西裕樹（典礼部） 蛭田武（三日月会）
井川直哉（地区会） 井川伸子（社会活動部） 本下稔（施設管理部） 小田琢也（壮年会）
藤井敦子（婦人会） 辻原華（教会学校） 宗行孝之介（財務部） 大上尚子（広報部） 以上 18 名

1. 英主任司祭より挨拶と現状説明

- ・地区交流会で、高齢化・担い手不足から行事の縮小化をしなければならない当教会の問題が十分共有されていないと感じた。8 月 25 日に行う「シノドスの集い」で意識の溝を埋めていきたい。
- ・教会開放の試みについて
オープンスペースは利用者が少ない。
図書室は、中学生・受験生の自習勉強の場として使われている。
渡辺神父主催の「ハッピー・カフェ」はポスター等で知った神戸大学生などが参加した。
「お茶っこサロン」も渡辺神父の提案。毎週水曜日 14 時から 16 時に行う予定。
教会スペースの使用を規定するのは難しいが、公共性のあるものを基準に考え、私的な使用は断る。司祭の判断によるものとする。
- ・8/25（日）10 時 森晃太郎新司祭の初ミサが行われる。
- ・会計担当者についての報告訂正。2 名必要なところ、現在 1 名だけ。もう一人は依然見つからないため、アシスタント 2 名をつける体制で行っている。
- ・司祭館で食事を作る人が急に辞めたので、代わりのひとに心当たりがあれば教えてほしい。

2. 報告事項

- (1) 三日月会例会（5/15）（蛭田） 6 月教会報参照。
現行年 5 回の例会のほかに、月 1 回親睦を図る集いを検討中。
秋ごろから始めたい。アイデアがあれば欲しい。
- (2) 巡礼（細川ガラシャの足跡を訪ねて）（5/25） 6 月教会報参照。
42 名参加。人数集めに苦労があった。
- (3) 東ブロック教会奉仕者養成講座（5/26）（中西）
六甲教会から 7 名参加。神戸中央教会から 6 名、住吉教会から 6 名参加。
次回（第 2 回目）は六甲教会で 7/28 に実施予定。また、神戸他地区・垂水教会から 2 名の参加希望要請があり、次回から参加する予定。全 5 回実施予定。
- (4) ミニコンサート（5/31・聖母の訪問ミサ後）（中西）
オルガン：奥田仁美さん 約 70 名参加
- (5) 祈りと音楽の集い（6/2）（中西） 7 月教会報参照。
マリンバ：西尾知子さん オルガン：三浦優子さん 106 名参加。献金 52,000 円あり。
- (6) 教会学校遠足（6/2）（辻原）
神戸青少年科学館へ。小学生 22 名、大人 11 名参加。
- (7) 年次報告会（6/9）（堤） 7 月教会報参照。
- (8) 第 2 回地区会（6/9）（井川直） 7 月教会報参照。
バザーの見直しについての意見を聞いた。
三日月会の誕生日お祝いカードについては、協議事項参照。
- (9) 新受洗者・転入者説明会（6/16）（堤） 7 月教会報参照
教会ツアーが好評だったので、これからも実施したい。
- (10) 高齢化に伴う清掃等外注関連（本下）
教会屋内の清掃（大阪シナピス：6/21）は、今後も定期的（年 6 回、偶数月）に依頼する。
庭園の除草（大阪シナピス：4/19、社会活動神戸センター：5/22）は、今後も両施設に夏と秋（各施設年 2 回、合計 4 回）の除草作業を依頼する。
- (11) 春の黙想会（6/22）（松平） 7 月教会報参照。
参加者 92 名は昨年の 1.5 倍の人数であった。六甲教会以外の参加者もあった。
- (12) 幼児洗礼式（6/23）（中西） 7 月教会報参照。
幼児 3 名（大人 1 名も）が受洗した。これからも希望があれば春に実施の予定。

(13) その他各部・各会からの報告

i 社会活動部から（井川伸）

①8/3 神戸中央教会で、ドキュメンタリー映画「生きる」を上映。

緊急時の行動の参考となるので、是非見てほしい。

②クリスマスチャリティーコンサート参加者募集

12/12（土）神戸中央教会で行われるコンサートへの参加募集。

社会活動神戸センターによる野宿者支援のための献金あり。

ii 施設管理部から（本下）

①雨漏りの対策；小聖堂・イグナチオ・ホールの2か所：工事完了。

②聖堂排煙窓の工事；排煙システムの内、現在のシステムを活用できるところがあり、当初見積に比較して大幅に減額されたため発注を済ませた。工事は来年3月末に完成の予定。

③事務室の複合印刷機のリース契約について；機械に不具合がなく、印刷枚数も少量のため、再リースとする。

④雨漏り対策；原因の特定が難しく、対策を検討中。イグナチオ・ホールの準備室の雨漏りについては、2階バルコニーの防水で解決できそうなので、見積もりを取り、発注を検討する。

3. 協議事項

(1) シノドスの集い（8/25）11：30～13：00（堤）

①現状の報告、②問題の共有化、③今後の課題を見つける－を主眼とし、「霊における対話」手法で課題抽出を狙う。この手法は、教皇フランシスコも推奨しており、一つのテーマについてグループ内で3回意見を回すため、通常の分かち合いより時間がかかる。

- ・「霊における対話」は、訓練を受けていないが大丈夫か。→議長団がファシリテーターを務めるため英神父に指導をお願いする予定。それを8/11に予定。

よければ、評議会メンバーも参加されたい。

- ・「シノドスの集い」に、各部のコーディネーターには参加してほしい。

協議の結果、シノドスの集いは次の通りとする。

- ・六甲教会の現状の報告に加え六甲教会の問題点と新たな仕組み作りをテーマに「霊における対話」をおこなう。
- ・今後各部、各会で「霊における対話」を使用できるよう各部、各会少なくとも1～2名の参加を要請する。
- ・一般信徒の参加を促すため「シノドスの集い」のパンフレットを作成し、周知を行う。

(2) バザーの見直し（井川直）

- ・第2回役員会で、蚤の市・衣料品販売をやめ、個人出店へという変更を理解を得られたと感じる。既に、個人出店を考える声も聞いている。どのように具体化するか討議。
- ・教会学校、中高生会は、参加を決めたら個人出店同様、出店申込書を出してもらう
- ・出店申込書に、手伝い必要人数を書く欄を入れるのがよい。
- ・食事係の出店者に対し、万一の食中毒に対応するためサンプルの1週間の保存をお願いする。
- ・場所配置を確認したい。食事関係はイグナチオ・ホール、ボランティア・グループは第1、2会議室、個人出店は信徒会館ロビーの予定。昨年は2階会議室での出店を知らない人もいた。
→ 周知の方法を考える。
- ・地区役員に手伝いを要請できるか？ 会場設営、片付けなど。
→ ボランティアが少ない場合は、要請済み。

協議の結果、バザーについては次の通りとする。

- ・蚤の市、衣料品販売をやめ、個人出店とする。
- ・手伝いのみ希望する信徒の方のため、手伝いボランティアを募集する。
- ・個人出店については、「出店申込書」を提出していただく。
- ・「出店申込書」には、必要な手伝いの人数を記載出来るようにする。
- ・食事係の出店者は、食品サンプルの1週間保存を義務づける。
- ・出店場所、当日の運営（周知方法を含む）については、バザー企画グループで実施する。
- ・本件については、7/21の地区役員会で最終決定する。

(3) 三日月会誕生日カードの見直し（蛭田）

地区会で三日月会会員の把握と確認のため人手による配布をしてきたが、負担が大きく、今も多くを郵送に頼っている。この際、事務室から郵送してもらえないか。

月50通ぐらいあり、郵送すると年間5万円ほどかかる見込み。

協議の結果、誕生日カードについて次の通りとする。

- ・三日月会は月初めまでに当月の誕生日カードを地区会のレターケースに入れる。
- ・誕生日カードの該当者は地区会のレターケースから受け取っていただくよう週報でお知らせする。
- ・誕生月の15日以降に残った誕生日カードは事務室より郵送する。
- ・本件については、8月から実施する。

(4) 今後の行事予定

- ①侍者練成会 (7/14、7/21) (中西)
- ②中高生 キャンプ (7/14～15) (渡辺神父) 12名＋ヘルパー3名 参加予定。
- ③平和を祈る集い (8/11) (松平) ※ちらしプリント参照
- ④周年委員会 (8/11) 第1回会を開く予定
- ⑤教会キャンプ (8/12～14) (辻原) 場所：兎和野高原野外教育センター早瀬キャンプ場
テーマ：仲間とともに
小学生24名、リーダー26名、計50名 参加予定、
7/27、28に、リーダー事前研修会を実施予定。
- ⑥年会キャンプ (9/23～26) (渡辺神父)
場所：静岡・ラルシュ かなの家 参加者3～4名と渡辺神父の予定
- ⑦教会遠足 (10/19) (小田、藤井)
 - ・行先：徳島 (徳島教会でミサ参加、阿波踊り会館で阿波踊り鑑賞、工場見学など)。
 - ・バス1台 (定員40名) 手配済み。8:30 教会出発、18:00 教会帰着 予定
 - ・参加費用：昨年は1万円/人とし、不足分は壮年会会計から支出した。
値上げ希望もあるが、据置きとする。参加人数不足の場合は、他教会 (住吉教会、神戸中央教会) にも声掛けする。

以上

次回第3回小教区評議会 9月8日(日)11:30～、信徒会館第1・2会議室

2024年度 第3回地区役員会議事録

日時：2024年7月21日 11:30～13:00

場所：第1・2会議室

出席者：堤 小教区評議会議長、荏原 小教区評議会副議長、地区会役員

1. 転入者・新受洗者説明会 (7月号教会報参照)

- ・教会ツアーが好評だったので次回も実施する方向に。

2. 地区交流会開催 (7/7)

- ・全体で約160名参加、昨年より20名程増加。地区により14名～34名の参加も。
- ・六甲教会の祈りでスタート、六甲教会の祈りで終了した。
- ・自己紹介後、今年のバザーでは蚤の市、衣料品販売を行わないことから、ほとんどの地区で個人出店についての意見交換をおこなった。個人出店に賛同し、出店を前向きに検討するとの発言があった地区や、出店は出来ないがボランティアで協力するとの発言があった地区も、それぞれ複数あった。
- ・教会の方針となった「身の丈にあった活動と交流」を認識共有できていない方もおられるとの指摘もあった。

3. 個人出店について意見交換 (各地区の信徒の反応を踏まえて)

「身の丈にあった活動と交流」という教会方針の共有と出店募集を目的として、募集チラシ配布と出店申込届配布、教会報掲載、週報掲載を実施する。(バザー企画グループ)

- (1) 8月下旬にチラシと出店申込届配布、申込締切りは9月末。
- (2) 9月教会報掲載。
- (3) 9/15(日)地区役員会にて中間報告。

4. 三日月会誕生日カード配布見直し (小教区評議会にて下記内容にて決定した)

- ・三日月会が月始めまでに誕生月の誕生日カードをそれぞれの地区会のレターケースに入れる。
- ・誕生日カードの該当者はそれぞれの地区会のレターケースから受け取っていただくよう、週報で知

らせる。(三日月会担当)

- ・誕生月の15日以降まで残った誕生カードは、事務室より郵送する。
- ・本件は、8月から実施する。

5. 掃除用具の点検の報告 (灘北2・阪神)

- ・掃除マニュアルは作成せず、掃除用具保管場所リストを作成する。
- ・掃除用具保管場所のリストは①各保管場所別リストと、②各保管場所別リストを一覧表にしたリスト(全体リスト)を作成し、9/15(日)地区役員会にて説明することとする。
- ・①と②のリストを各保管場所に掲示する(聖堂倉庫、信徒会館階段下の倉庫等)
- ・参加人数不足で掃除ができなかった箇所は、聖堂1階倉庫内掲示の「引継ぎノート」に記載すること。

6. イグナチオ喫茶当番

8/4 東灘北2・芦屋

9/1 灘北1・北・三田

10/6 灘北2・阪神

以上

次回第4回地区役員会 9/15(日)11:30～



≪ 地区交流会開催 ≫ 7月7日(日)



7月7日(日)10時ミサ後に各地区、各ブロックの皆さまがイグナチオホール、信徒会館、各会議室に集い交流を図りました。昨年に続き2回目の開催になり160名ほどの方が参加されました。昨年より20名ほど多い参加でした。今年のバザーは、大掛かりな蚤の市や衣料品販売ではなく



個人出店を募ることになり、個人出店についての説明が各地区役員から行われました。出店を検討するとの意見や、出店はしないがボランティアで協力してもいいとの意見、大掛かりな蚤の市がなくなり寂しいとの発言もあり、様々な意見交換ができ盛況の内に終了しました。(地区会代表 井川直哉)

≪ 平和旬間 ≫ 8月11日(日) 14時

今年の平和を祈る集いでは、アフリカのルワンダで義肢製作所を開き、無償で障害者に義足や装具、杖などを提供する活動が続いているルダシグワ真美さんとガテラ氏夫妻をお招きし、ルワンダでの活動についてお話を伺います。右のポスターは、六甲教会のX(旧ツイッター)でもご覧になれます。講演会のあと、夫妻の今後のご活躍と平和を祈りたいと思います。申込み不要。13時半より受付。



《 図書室からのお知らせ 》

- ・2024年7月に主任司祭から図書室に頂いた本

☆ ニカヤ信条 使徒信条 入門

F・ヤング(著) / 木寺廉大(訳) 教文館

礼拝の中で唱えられるニカヤ信条、使徒信条にはどのような意味があるのか。その起源と役割を説き明かす。

☆ ヘンリ・ナウエン ～傷ついても愛を信じた人～

酒井陽介(著)

日本キリスト教団出版局

20世紀を代表する霊的指導者ナウエンは神の愛をこころの底から信じていた。しかし同時に人間の愛に渴いていた。神の恵みで人間が充分なことを知っていたが、足りなさを人からの愛情と称賛で埋めようとした。孤独の中で悶えていたが、そこに確かに神の同伴があることを感じていた。

- ※ 図書は皆様のためのものです。貸出し期間は2～3週間を目安にお願い致します。またその期間内に読める冊数でのご利用をお願い致します。その本に関心を持たれている方は、あなたの外にも多くおられるのです。
- ※ 皆様方の図書室をさらに使いやすくするために、どうしたらよいか。お気づきの点をお知らせ下さい。

7月14日、私は教会学校の小中学生に向けた餃子作りの活動に参加しました。渡辺神父様と吉村祐基さんとお母さまと一緒に、14人分の肉餡と餃子の皮を準備しました。作り始める前は、肉餡の味付けが一番難しいと思っていましたが、実際に作業をしてみると、最も難しいのは一見簡単そうに見える基本的な作業であることに気づきました。例えば、大量の白菜やニラを刻むことや、生姜をすりおろすこと、数キロの小麦粉を捏ねることなどです。

非常に恥ずかしいことですが、この年になって、初めて深く教会の奉仕に参加しました。小学生の頃から夏休みを教会で過ごし、教会が準備してくれた美味しい料理をよく味わっていました。しかし、これらの楽しい活動の背後に、どれほど多くの兄弟姉妹の愛の奉仕があるかを真剣に考えたことはありませんでした。毎週教会に来て、美しい庭園に咲く花々を見ながら、主の言葉に力を得て、心が癒され、満足して帰っていました。無意識のうちに、教会から受ける愛を当たり前のように感じていたのです。

今回の青少年への奉仕を通じて、私は再び、家族を大切にするように教会も大切にするべきだと認識しました。私たちは皆、主の愛によって支えられており、主の家族の一員です。洗礼を受けたばかりの頃、私たちは教会の家族の愛に包まれ、幼い子供のように成長しました。その後、信仰が深まり、教会の大家族の中で青年に成長した私たちは、その愛を次の世代に引継ぐ責任を果たすべきではないでしょうか。かつて私たちを世話してくれた兄姉のように、教会の「幼い世代」のために自分の力を奉仕することが必要です。私たち一人一人の行動を通じて、主の家族の愛と深い絆を世間に示し、私たちの教会家族が長く繁栄することができることを祈ります。

私の好きな聖書のことば

マリアの宣教師フランシスコ修道会
テレジア 梶川 邦子

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って神に召された者たちには、
万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」

ローマの信徒への手紙 8：28



昔、姉の修道会入会を機に受洗の恵みをいただいた母がよく口にしていたこのみことばがいつのころからか、私の心の中に刻まれて、いろいろ難しいことに遭遇するたびに思い出すようになりました。今思い返すと、当時母も苦労が多くて、この言葉に励まされながら、乗り越えては、神様の守りを実感していたのかもしれない。私自身も奉獻生活 55 年の日々を重ねるうちに、いろいろなところに派遣され、そこで様々な人との出会いをいただきながら、そのときどきに私の身に起こったこと、それが組み合わさって次々に導かれてきていたことがよく見えるようになりました。私の力ではない大きな計画の中で、今日起こること、小さなことも、それほど小さくないこともなんとか引き受けて歩んでくることができたように思います。ですから「大丈夫、神様が必ず力をかしてくださるから」という気持ちがいつも心のどこかにあり、きっとこれからも神様のはからいの中に身をゆだねて生きていけるに違いないと確信できるのです。典礼聖歌の答唱にあるように、「神のはからいは限りなく、生涯わたしはその中に生きる」を繰り返しながら…。

[illegible]

ミニコンサート
～聖母の被昇天によせて～
8月15日(木)
10時00分まで終了後、11時00分開演開始
上記要項について、お問い合わせのうえに申し込みの受付となります。
申し込みは先着順となります。

ソプラノ 安袋 美穂 (ソプラノ、ピアノ、朗読会参加者)
オルガン 三浦 優子 (人形、ソプラノ、朗読会参加者)
Program: シューベルト「アヴェ・マリア」
グリンベーン「
グロリア」
「マリア・アンテ・ノブリス」
「マリア・アンテ・ノブリス」

主催 六ヶ谷リリクス芸術家グループ

[illegible]

This is a reproduction of Michelangelo's fresco 'The Ascension' from the Sistine Chapel. The Virgin Mary is depicted ascending into a golden, circular mandorla at the top, surrounded by angels. Below, a group of people, including a man in a yellow and pink robe, look up in awe and devotion.

【2024 年 8 月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					初金曜日ミサ 7:00 10:00 ◎東灘北 1	
4	5	6	7	8	9	10
年間第 18 主日 カンボジア教会の 日の献金		主の変容 日本カトリック 平和旬間 (～15 日)			◎東灘西・中央	聖ラウレンチオ 助祭殉教者
11	12	13	14	15	16	17
年間第 19 主日 平和を祈る集い (14:00) (ポスター参照)	教会学校 キャンプ (～14 日) 事務室休み (～14 日)			聖母の被昇天 ミサ 7:00 10:00 ミニコンサート (10 時ミサ後)	◎大阪シナピス 定期清掃	
18	19	20	21	22	23	24
年間第 20 主日					◎東灘北 2・ 芦屋	聖バルトロマイ 使徒
25	26	27	28	29	30	31
年間第 21 主日 シノドスの集い 11:30					◎東灘南	

◎印は掃除当番地区（午前 7 時時点で気象警報が発表された場合は中止）

社会活動部 今月の予定

- ・ 8 月 19 日(月) 9 時半 ともしび会 教会台所（児童養護施設の子どもたちへのケーキ作り）
- ・ 手芸の集いと炊き出しは、8 月はお休みです。

【おわびと訂正】

7 月号で、次の 3 か所に誤りがありました。おわびして訂正します。

「私の好きな聖書のことば」

- ・ 引用元聖書 ルカ福音書の章
1-32 ⇒ 11-32
- ・ 本文冒頭に「放蕩の末、」を追加。
- ・ 下から 1 行目 精霊 ⇒ 聖霊

「行事予定表」

掃除当番表に複数の誤りがありました。
7 月 5 日と 12 日の清掃当番はなく、また、
「灘南・神戸西」の当番は 12 日ではなく、19 日
でした。

(編集部)

【編集後記】

◇納涼の夕べは今年も開催されません。納涼と言ってもどこに納涼するところがある？と言うくらい危険な暑さの続く毎日です。風鈴と夕涼みの日本の夏はもう望むべくもないのでしょうか。
◇秋のバザーも縮小傾向とか。でも祈り、感謝、奉仕の精神は縮小などしませんように。(余)

- ・ 次回 7 月号の発行は 8 月 31 日(土)です。原稿は毎月 15 日ごろまでに、教会受付へご持参いただくか、FAX、メールでお願いします。
(renraku@rokko-catholic.jp)

皆さまからのご寄稿をお待ちしています。

- ・ 教会 SNS チームは、フェイスブック、インスタグラム、X (旧ツイッター)、YouTube チャンネルで配信しています。「六甲カトリック教会」で検索してみてください。

六甲カトリック教会

〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21

電話 078-851-2846

FAX 078-851-9023

<http://www.rokko-catholic.jp>

発行責任者 英 隆一朗

編集 広 報 部